



第3回

女性活躍 パワーアップ大賞

女性の活躍で、組織にパワーを

応募要領



主催

公益財団法人 日本生産性本部
ワーキングウーマン・パワーアップ会議

北海道生産性本部 東北生産性本部 中部生産性本部 関西生産性本部
中国生産性本部 四国生産性本部 九州生産性本部
新潟県生産性本部 栃木県生産性本部 群馬県生産性本部 埼玉県生産性本部
千葉県生産性本部 神奈川県生産性本部 静岡県東部生産性本部 沖縄県生産性本部

趣 旨

「女性活躍推進法」が施行され、企業における取り組みの加速化が求められています。しかし、今日まで長年にわたり築かれ定着してきた企業文化や職場風土を変えて、女性の成長と活躍を推進していくためには、女性人材の活用・登用に対する経営者や管理職の意識の高さや、中長期的な視点をもった育成が求められます。

そこで、「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」では、女性の活躍を、組織の生産性向上につなげる動きを加速させるために、「第3回 女性活躍パワーアップ大賞」を実施し、独自性ある創意工夫された取り組みを行っている組織を広く表彰してまいります。皆様からのご応募をお待ちしております。

ワーキングウーマン・パワーアップ会議

企業が持続的な成長を遂げるためには、女性の育成・活用・登用が不可欠であるため、女性が従事する仕事の質や処遇の向上を目指して、「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」が2008年9月に発足しました（事務局は日本生産性本部が担当）。当会議ではこれまでの視点に加え、女性の活躍推進を、組織の生産性向上につなげていくことを目指し、①組織・職場の更なる風土改革の推進、②女性活躍推進計画の実現と女性人材の育成の支援、③中堅・中小企業や地方での取り組みの加速化、に取り組んでいきます。

推進委員

代表幹事	小林 いずみ	ANAホールディングス(株)／三井物産(株)／(株)みずほフィナンシャルグループ 社外取締役
代表幹事	橘・フクシマ・咲江	G&S Global Advisors 代表取締役社長
代表幹事	芳野 友子	日本労働組合総連合会 副会長／JAM 副会長
推進委員	アキレス美知子	SAPジャパン(株) バイスプレジデント人事戦略担当
	有沢 正人	カゴメ(株) 執行役員CHO(最高人事責任者)
	後藤 千恵	NHK放送文化研究所メディア研究部副部長／NHK解説委員
	小林 洋子	NTTコミュニケーションズ(株) 常勤監査役
	武富 正夫	第一生命保険(株) 取締役常務執行役員

表 彰

優れた取り組みを表彰します〈大賞・優秀賞・奨励賞など〉

表彰式

2018年3月開催予定の「エンパワーメント・フォーラム2018」において、表彰します。受賞された場合、表彰式への出席をお願いいたします

受賞の特典

- 賞状を授与いたします
- 本会議のホームページ (<http://www.powerup-w.jp>) などで受賞を告知します
- 受賞者のホームページなどで広報することができます



応募・表彰対象



女性の活躍推進において、企業・組織で他の範となる事例や、組織内外に大きな影響・貢献を果たしている事例を表彰いたします

選考の観点

上記に基づき、次のいずれかの観点(複数可)に該当するものを選考します

a 総合的・先進的な取り組み

女性の活躍推進について、幅広い観点に立って、政府目標を上回るなど総合的・先進的な取り組みを行っているか

b 中堅・中小企業等における独自性ある取り組み

中堅・中小企業等において、自社の特性などを活かした独自性ある取り組みか

c 生産性向上につながっている取り組み

女性の参画により異なる視点・発想を生み出すことで、組織に新たなビジネスモデル・サービスモデルを創出し、組織のイノベーションや、生産性向上・業績向上につながっている取り組みか

d 新しい働き方の創造への取り組み

テレワークの推進をはじめテクノロジーを活用するなどにより、業務プロセスと働き方の改革を行い、女性活躍の場の拡大に取り組んでいるか

e 女性社員の育成への積極的な取り組み

早い段階からのキャリアの形成に配慮して、メンター制度・スポンサーシップ制度等を仕組みとして取り入れ、社員の意欲や能力を高めつつ、育成・活用を積極的に促している取り組みか

f 組織風土改革・意識改革における取り組み

ダイバーシティの重要性を認識・受容し、その考え方を組織に浸透させ、経営者・管理職の意識改革を含め、組織風土改革・活性化に取り組んでいるか

参考 応募内容は自由ですが、下記のような取り組みが一つの例として考えられます

- 組織の意思決定にかかわる立場(企業の役員・部長・課長職や労働組合の幹部職など)への登用・育成を積極的に進め、多様な人材が活躍できる風土改革を行った事例
- テクノロジーを活用して、出張や会議の削減など労働時間の短縮や、働くことが可能となる仕組みを作り、女性が働きやすい環境を広げている事例
- これまで男性の仕事とされていた業務に女性を登用したなど、男女双方の仕事領域を広げることで、付加価値向上・顧客価値創造に結びついている事例
- トップのリーダーシップにより、女性の活躍の場の拡大など、女性の活用を経営戦略に組み入れ実行し、計画的・継続的な育成に取り組んでいる事例
- 役員・管理職の意識改革(女性への仕事の任せ方など)、及び女性社員の意識改革に積極的に取り組んでいる事例
- メンター制度やスポンサーシップ制度などを取り入れ、女性の活躍を応援する組織風土の醸成に取り組んでいる事例
- 男性の育児・介護への参画を促し、女性の活躍・継続就業を支援している事例
- 育休復職後も戦力として活躍し、キャリアアップにつながる仕組みが整備され、運用されている事例
- 正規・非正規に関わらず、キャリアアップやモチベーション向上に取り組んでいる事例

※ 上記は例であり、応募対象の取り組みとして限定するものではありません

応募方法

応募の締め切り 2017年12月25日(月)必着

応募書類について

- ① 応募申込書（ワード形式）を本会議のホームページ（<http://www.powerup-w.jp>）からダウンロードし、必要事項をご記入の上、Wordファイルのまま、電子メールにて下記事務局宛にご送付ください
※事務局から受け取りの確認がない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください
- ② 会社案内資料（組織概要のわかるもの）を、電子メールあるいは郵送にて下記事務局宛にご送付ください

その他

- ① 選考に際し、追加資料などのご提出やご照会をお願いすることもありますので、予めご了承ください
- ② 選考結果は、最終審査後、速やかにご連絡いたします
- ③ ご提出いただく個人情報は、事務局を担当する日本生産性本部の個人情報保護方針に基づいて取り扱います。応募申込書記載の「個人情報の取り扱いについて」をご確認・ご同意の上ご応募ください
- ④ 他の組織を推薦する場合は、組織名・連絡先などを下記事務局までご連絡ください。事務局より被推薦組織に連絡します

◆2017年「第2回 女性活躍パワーアップ大賞」受賞組織

賞	組織名	取り組みの主なポイント
優秀賞	北陸電力	女性役職者を支援するプログラムの導入や他社との交流でキャリア形成を推進
	日本ユニシス	テレワークによる働きやすい環境整備と、女性の新規ビジネス創出を支援
	肥後銀行	節目毎のキャリア研修の充実で、女性の幅広い職務へのチャレンジを推進
	オリックス・レンテック	女性の技術者とタスクフォース編成で、女性型アンドロイドの商品化が実現
	ダイキンエアテクノ	全国支店での女性が活躍できる職場づくり委員会活動で、組織風土を変革
	バイタルリード	3年以上のパートタイマー無期契約やメンター制度で、キャリア形成を支援
奨励賞	コマーム	就業時間や場所の柔軟な変更で保育人材の働きやすい職場づくりを推進
	原田左官工業所	女性のアイデアから装飾的な左官の分野を開拓し、新しい価値創造を実現

(優秀賞・奨励賞:従業員規模順)

◆2009～2016年の受賞組織 (組織名は受賞時点のもの)

あいおいニッセイ同和損害保険 アクセンチュア あさくま アステラス製薬 NTTソフトウェア オークローンマーケティング
キャリア・ママ キリンホールディングス KMユナイテッド 神戸大学 国際協力機構 産業技術総合研究所 シスコシステムズ
上智学院上智大学 住友スリーエム 西友 セブテニ セブン&アイ・ホールディングス 全日本空輸
損害保険ジャパン日本興亜 第一生命保険 大成建設 高島屋 デンソー テンポスバスターズ 鳥取大学医学部附属病院
トヨタファイナンス 名古屋大学 日産自動車(生産部門) 日本特殊陶業 日本ハム パソナグループ 光機械製作所
ヒューマンシステム P&G 富国生命保険 星野建設 ブリヂストン 三越伊勢丹 ライフコーポレーション LIXILグループ

※賞の内容・取組の詳細は下記ホームページをご参照ください

お問い合わせ先

「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」事務局
公益財団法人 日本生産性本部 ダイバーシティ推進センター内

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1 電話:03-3409-1122 FAX:03-3409-1007
URL: <http://www.powerup-w.jp> E-mail: powerup@jpc-net.jp